

平成24年度 糖尿病教育・看護学会主催研修会プログラム

糖尿病重症化予防（腎症）における看護の役割

主催：日本糖尿病教育・看護学会

企画：研修推進委員会

透析患者数が増加している中、透析導入患者の原疾患は糖尿病性腎症が最も多くなっており、その進展防止と透析導入数を減らすことが責務とされている。その流れをうけて2012年4月、診療報酬改定により糖尿病透析予防指導管理料が認められることとなった。腎症患者へのチームでの関わりが注目され、一方で糖尿病腎症による透析への移行を減らすというエビデンスが課題となる。

腎症患者への療養支援はそれまでの血糖コントロールを中心とした関わりから、腎症進展防止のための食事・運動療法へシフトされるため、セルフケアを実行する多くの患者の混乱、困難が起こりうる。腎症の進展の程度、生活状況、患者の理解度や信念、サポート状況に応じたきめ細やかな支援が求められる。そこで、今回の研修では、特別講演・教育講演・シンポジウムを通し、病期に応じた看護とチーム活動の実際や透析予防支援の評価について学び、糖尿病重症化予防（腎症）における看護の役割を考える機会としたい。

日時：平成25年1月26日（土） 9:50～16:30

会場：芝蘭会館 稲盛ホール

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内

<http://www.shirankai.or.jp/facilities/access/index.html>

定員：220名（日本糖尿病教育・看護学会員優先、先着順）

参加費：学会員4000円 非学会員6000円

申し込み期間：学会員 平成24年 9月29日～11月30日

非会員 平成24年10月15日～11月30日

申込方法：日本糖尿病教育・看護学会ホームページ（<http://jaden1996.com/>）の「オンライン参加登録システム」より、お申し込みください。

プログラム：

9:50～10:00 挨拶

10:00～11:00 特別講演 『医療におけるアウトカムと経済評価』

講師：川上浩司（京都大学大学院医学研究科薬剤疫学分野・臨床研究管理学分野教授）

11:10～12:10 教育講演1 『糖尿病腎症患者の看護』

講師：畑中 あかね（医療法人医誠会 医誠会病院）

座長：山崎 歩（日本赤十字広島看護大学）

12:10～13:00 休憩（昼食ご持参の方は山内ホールへ移動しての昼食となります）

13:00～13:30 教育講演2 『「糖尿病透析予防指導管理料—チーム医療における看護の役割—」

講師：任 和子

（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 臨床看護学講座）

13:30～16:30 シンポジウム 『腎症患者への支援の実際とチームでの役割』（仮題）

シンポジスト：西村 直美（りんくう総合医療センター）

水野 美華（原内科クリニック）

安仲 恵（天理よろづ相談所病院）

座長：岡崎 優子（社会保険看護研修センター）

菊原 伸子（東邦大学医療センター大森病院）

その他：① 本研修は「日本糖尿病療養指導士」認定更新のための第1群＜看護職＞の研修として4単位が認められます。（認定証は研修終了後に配布いたします。30分以上の遅刻および早退者へ認定証の発行はいたしませんので、予めご了承下さい）

② 稲盛ホールでの会場内飲食は不可です。ご持参された方の昼食は山内ホールへ移動しての飲食となりますのでご了承下さい。